代表質問

大田原創生会
滝田　一郎 議員

台風19号を教訓とした防災について

質問：防災情報伝達システムについて伺います。

答弁：市の防災、防犯、生活情報、省庁からの緊急地震速報、総務省、消防庁の国民保護情報等が配信され、市内で発生した火災のサイレン吹鳴も可能です。

整備費用につきましては、今年度の調査、設計業務委託に４４０万円、令和２年度の工事請負費に４億４０００万円を予算計上しております。令和３年２月から試験放送を開始し、４月から運用開始を予定しております。

質問：百村川等の調整池整備及び一級河川等の堤防強化と浚渫を県に要請すべきではないか伺います。

答弁：調整池の整備につきましては、現在鹿島川の整備を実施しており、百村川の調整池につきましては鹿島川の進捗状況を踏まえ、検討していくとのことです。今後一級河川の堤防を強化し、浚渫事業につきましては、優先順位を見極めながら計画的に実施していくとのことでございました。これらを踏まえ、市といたしましては今後とも一級河川の機能が維持、強化されるよう、県に対しより積極的に要望活動を行ってまいりたいと考えております。

※浚渫（しゅんせつ）は、港湾・河川・運河などの底面をさらって土砂等を取り去る土木工事のこと

新規工業団地整備について

質問：南関東の工業団地の完売が相次ぐなど、企業立地の波が北関東に押し寄せているそうです。中田原南部、練貫、佐久山地区等への工業団地を整備できないか、伺います。

答弁：適切な地域配置や事業見通しに基づき、今後県とも協議を図りながら検討してまいりたいと考えております。

質問：佐久山地区には記念樹の森構想の農振除外地域が数十ヘクタールありますが県の改善指導等がないのか伺います。

答弁：協議をしていますが目的外使用は今の段階ではできておりませんので、よろしくお願いいたします。

質問：調査費を計上して進めていかなかったら、将来が見えないのではないか伺います。

答弁：座して見ているわけにもまいりませんので、様々な角度から県の開発公社、都市計画センターにも過日訪問をいたしております。今後新たな企業誘致の材料として必要なものと思っておりますので、動き始めたと申し上げてよろしいかと思います。ただ、今のところ目ぼしいところがここだというターゲットにはなっていないのでご理解をいただければと思います。